

## 1 相談支援ファイルの目的

「相談支援ファイル」は、発達障がいのある人をはじめとした支援の必要な人、またその家族が、生涯にわたって継続的で効果的な支援を受け、安心して安全な生活を送ることを願って生まれました。支援を求めらるご本人の生活の様子や、支援状況を記録することによって、

- ・ 本人の発達を客観的・長期的に把握すること
- ・ 本人とその家族が関係機関からより良い支援を受けること
- ・ 支援に関わる機関どうしの、連携や接続をなめらかにすること

を目的としています。

## 2 相談支援ファイルの基本的な考え方

「相談支援ファイル」は、お持ちになる方にとって、「確実に役立つ」ツールです。

### ○ ファイルを利用されるご本人・ご家族の利益と利便性を第一に考えます。

どなたにとっても分かりやすいものになるよう、利用者の願いや好みに合わせて取捨選択できます。また、あったらいい情報より、「なくてはならない情報」にしぼって構成しています。記載項目にない内容で必要なものについては、別紙に記載し、差し込むことができます。

### ○ ご本人やご家族の状況に応じて活用できます。

ファイルがお子様の可能性を狭めるものではなく、「ひとりひとりの可能性を拓げるもの」として活用できることを目指しています。そのときの状況に応じて、ファイルを利用するかたちを変えられます。すべての内容を記入する必要はありません。

### ○ 利用者の自主性・主体性を大切にします。

ファイルを手にするのは、「希望する方」です。  
手にしたファイルに記入するのは、「ご本人やご家族」です。  
支援機関はあくまでも作成の協力者であって、決して作成や記載の強要は行いません。

## 3 個人情報保護について

ファイルには、本人や家族（保護者）の個人情報や、支援者・関係機関にかかわる情報が多く含まれていますので、プライバシーに十分配慮して慎重に取り扱ってください。

※ここでいう保護者には、親権者や後見人のほか、施設入所者にとっての施設の管理責任者に準ずる立場で本人の支援を行っている方も含まれます。

## 4 相談支援ファイルの記入にあたって

### (1) 「相談支援ファイル」の構成

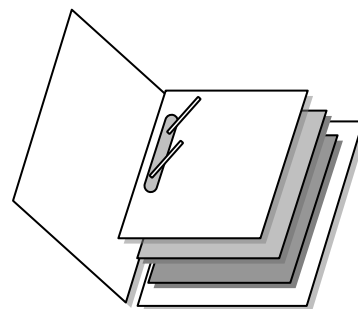
#### ○ 「相談支援ファイル」は2つのセット

「相談支援ファイル」は、次の2つからなります。

- ① プロフィール・ブック
- ② ステージ・ブック（下記の3種類）

※なお、母子健康手帳と一緒に保管することをおすすめします。

母子健康手帳には、乳幼児期から就学までの大事な情報が記載されています。



#### ○ スタートする種類が選べる「ステージ・ブック」

②「ステージ・ブック」は、利用を始めるときの年齢や状況などに合わせて、3種類を用意しています。利用の際には、必要なものを選んでフォルダーにとじてください。

キッズ・ブック	幼児期の支援情報（およそ0～5歳）
ジュニア・ブック	学齢・学生期の支援情報（およそ就学から学校卒業まで）
シニア・ブック	社会人の支援情報（およそ学校卒業後から）

#### ○ 自由に組み合わせられる「ステージ・ブック」

各「ステージ・ブック」は、1つの項目が1枚のシートにおさめてあるため、使わないシートを外すことができます。また、支援計画や検査結果と一緒にファイルにとじることができます。

### (2) 「相談支援ファイル」の内容

#### ①プロフィール

ページ概要	詳細	
プロフィール	氏名・性別・生年月日・連絡先・家族構成・診断名・取得手帳など	
生育歴	母の状況（妊娠中・出産時など） 子の状況（出生時・健診歴・乳幼児期の様子など） ※母子健康手帳と一緒に保管すれば、記入は不要	
医療の記録	医療情報	基礎疾患・既往歴・かかりつけ医療機関・特別処置・体質など
	受診記録	受診歴・常用薬など
福祉用具	導入時期・種類・名称・目的・導入までの経過・操作方法・寸法など	
所属の記録	所属歴1	乳幼児期から学校卒業までの所属先
	所属歴2	勤務先・事業所・職業訓練校等の日中活動の場

#### ②ステージ・ブック

ページ概要	詳細	キッズ	ジュニア	シニア
記録	保護者または本人の記録ページ （キッズ・ジュニアは1歳ごと、シニア については生活場面ごと）	○	○	○
	就学・進路選択に関わる相談の記録	○	—	—
	進学・進路選択に関わる相談の記録	—	○	○
	記録シート（自由記述）	共通書式		
	支援機関利用の記録 サポート・ネットワーク			
アセスメント	・ 日常生活における自立状況 ・ 日常生活における支援の現状と希望 ・ 身体的側面および精神的側面	—	—	○